

第4回あり方検討委員会資料

前回の委員会で出された意見の論点整理

◎学校を集約する

- ・人とのかかわり
- ・クラス数の維持
- ・学級編成替え
- ・豊かな体験
- ・多様性を大切にした学び
- ・教職員の確保
- ・施設・設備面

- ・4校が連携して小中一貫
- ・10名で当分良い
- ・一つにする必要はない

◎集約にあたって出された意見

- 小中一貫校
- 義務教育学校
- いずれ小中まとめる
- 西と東で大きな学校、南を小さな学校 → 選択、多様性・ニーズに対応
- 低学年は地域、高学年は一つ → 通学、地域とのかかわり

- ◇不登校・いじめへの対応
- ◇つまずいた時の居場所の確保
- ◇地域との連携
- ◇カリキュラム
- ◇専門的な学び

■第4回のグループ討議

「これからの時代にふさわしい辰野町の学校のあり方」

- ・少子化の進展に対応した新たな学校

